

甲子柿のPRと販売機会の創出

令和2年度地域政策研究センター 地域協働研究【ステージⅠ】 採択課題

課題名：甲子柿の生産振興と地域活性化の展開手法の研究

研究代表者：総合政策学部 教授 吉野英岐（総合政策学部）

研究メンバー：藤澤聡・大瀧忠和・鈴木真由美（釜石市産業振興部農林課）

技術キーワード：甲子柿、収穫体験、PRポスター、販売会、軽トラ市

▼研究の概要（背景・目標）

甲子柿のPRにむけて学生がポスターを作成するとともに、盛岡市での甲子柿の販売会や釜石市内での新たに始まった軽トラ市にも学生が参加することで、新たな視点からの甲子柿の魅力のPRと、販売方法や接客を考案・実践し、GI認証を取得した甲子柿の生産および販売の促進に寄与する。

▼研究の内容（方法・経過）

- ①研究の方向性の確認
- ②収穫体験とPRポスターづくり
- ③盛岡での販売会・釜石での軽トラ市への参加
- ④研究成果の現地報告会

▼甲子柿

甲子柿



甲子柿の半纏



「甲子柿」とは渋柿を1週間程度、室の中に入れ、煙で燻したうえで渋を抜いた柿で、この過程を経て、甘味が引き立ち、赤みが増し果肉はゼリーのような柔らかい食感になる。

▼販売会に参加

らら・いわてで販売



学生による販売支援



盛岡市内のらら・いわてで3回開催された甲子会の即売会に、県立大学の学生が参加し、消費者の声や反応を把握した。

▼PRポスターづくり

食べるほど若返る



甲子柿ができるまで



真紅の輝き甲子柿



甲子柿を知りつくそう



学生が4班に分かれて、甲子柿の魅力をPRするポスターを作成した。このポスターを販売会で披露し、消費者に魅力を伝えた。

軽トラ市



軽トラ市



釜石市内で新たに始まった農産物等の直売会である軽トラ市に県立大学の学生が2回参加し甲子柿および農産物の販売活動を体験した。

▼今後の展開

- ①甲子柿が地理的表示（GI）保護制度の対象農産物となり、今後の生産販売にはすみがついたことを受け、品質の均質化と安定供給にむけた一層の取り組みやその効果の検証が必要になる。
- ②今年度から始まった軽トラ市および、盛岡市での販売会での活動に学生の意見を導入し、消費者の求める甲子柿の魅力をより一層PRする。

【謝辞】 調査実施にあたり、ご協力いただいた関係機関と関係者の方々に感謝申し上げます。